※令和３年度以前入学生用

学校番号	408

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	2	第３学年	Revised COMET English Communication Ⅱ

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語は相手とコミュニケーションをとるために用いる道具です。コミュニケーション英語Ⅱの授業では、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」を通してそれら４つの力を段階的に身につけることを目標としています。様々な言語活動に積極的に取り組まなければ力はついていきません。授業では受け身になるのではなく、発声練習や挙手、アクティビティなどで積極的に参加し、英語を「使う」ことを意識して授業にのぞんで下さい。

・英語の語彙や文法については、コミュニケーション英語Ⅰで学んだことをもとに、学力の定着を図ります。丁寧な予習・復習を心がけましょう。

・辞書・参考書を必ず持参し、授業時に活用しましょう。

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
前もって準備した上で、絵、写真等視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。	コミュ英Ⅱ スピーキングテスト 暗唱テスト 音読/プレゼンテスト	簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活、趣味、将来の夢等）について複数の文を書くことができる。	コミュ英Ⅱ ライティングテスト 単語テスト 定期考査	決まった表現でゆっくり話された天候、時間、物の値段など、日常的なことがらについて、内容を理解することができる。	コミュ英Ⅱ リスニングテスト	・50 語程度の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解したのち、適切に音読することができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や説明文を理解することができる。	コミュ英Ⅱ 定期考査

3　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和３年度以前入学生用

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (14 時間)	フジ、 新しいひれのイルカ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・導入の映像をみて、ペアで、自分の意見を表現し、相手の意見を聞く意欲がある。	・映像を見て、感想をペアで伝え合う。	・ペア・ワークで、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・本文についての感想を、ペアで互いにインタビューをする。 ・音読や暗唱ができる。	・本文についての感想を、How was ~?を用いて、ペアで互いにインタビューし、答える。 ・聞き手にわかるように音読や暗唱する。	・How was ~?を用いて、ペアで互いにインタビューし、場面に合った答えができている。 ・適切な速さ、発音、リズムで、聞き手に伝わる様に音読や暗唱できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・音読/暗唱テストを行う。
		「外国語理解の能力」			
		・イルカとそれを支える人々がとった行動について、概要を理解する。 ・代名詞が指すものを読み取る。	・イルカとそれを支える人々がとった行動について、パートごとに、概要を理解する。 ・代名詞がさす内容と、注意すべき意味を読み取る。	・パートごとの概要を、簡単な英語で説明できる。 ・代名詞がさす内容と、注意すべき意味を読み取り、具体的に説明できる。	・定期テストの筆記テストで、内容理解を問う。出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動物と人間が共存できる自然環境を守ることの大切さを知っている。 ・現在完了形の使い方を理解し、正しく使う。	・本文中で用いられている言語材料の意味や用法を確認する。	・動物と人間が共存できる自然環境を守ることの大切さを知っている。 ・現在完了形の使い方を理解し、正しく使うことができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストで、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 8 (14 時間)	そのサービスは必要ですか	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークで、自分の意見を表現し、相手の意見を聞く意欲がある。	・駅についてのイラストを見て、ワークシートに基づいてペアで伝え合う。	・ペア・ワークで、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・身近なもの(無生物)を主語にして文章が作れる。 ・様々なサービスについて、賛成なのか反対なのかプレゼンをする。	・身近なものを主語にして、使役動詞の文章が作れる。 ・プレゼンをする。	・身近なもの(無生物)を主語にして、使役動詞の文章が正しく作れる。 ・聞き手に伝わるようにプレゼンをできる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・クラスでプレゼンを行いJET と NET が評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で、取り上げられているサービスについて理解する。	・各パートで、取り上げられているサービスについて、理解する。	・各パートで、取り上げられているサービスについて、登場人物の主張を理解できる。	・定期テストの筆記テストで、内容理解を問う。出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・使役動詞の使い方を理解する。 ・異議を唱える際に、相応しい表現を学ぶ。	・本文中で用いられている言語材料の意味や用法を確認する。 ・異議を唱える際に、相応しい表現を、モデルとなる会話を通して学ぶ。	・使役動詞の使い方を正しく理解し使うことができる。 ・異議を唱える際に、相応しい表現を使うことができる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストで、知識が身に付いているかを判断する。

※令和３年度以前入学生用

Lesson 9 (14 時間)	気分を変える	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークで、自分の意見を表現し、相手の意見を聞く意欲がある。	・感情を表すイラストを見て、今の気持ちをペアで伝え合う。	・ペア・ワークで、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・いつ落ち込むか、何で気分がよくなるか、簡単な英語でやり取りする。 ・自分がいつ落ち込むか、何で気分がよくなるかプレゼンをする。	・いつ落ち込むか、何で気分がよくなるか、感情に関する表現を用いて、やり取りする。 ・プレゼンをする。	・感情に関する表現を適切に用いて、相手に伝え、聞き取ることができる。 ・聞き手に伝わるようにプレゼンをできる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・クラスでプレゼンを行い JET と NET が評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文を読んで、いやな出来事が起こったときに，人が陥りやすい感情を理解する。	・いやな出来事が起こったときに，人が陥りやすい感情を理解し、negative thinking から脱却するための方法について学ぶ。	・いやな出来事が起こったときに，人が陥りやすい感情を理解し、negative thinking から脱却するための方法について、ペアで取り組む。	・定期テストの筆記テストで、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・negative thinking からの脱却方法について知っている。	・自分自身が、negative thinking に陥った時、どう脱却するか考える。	・自分の negative thinking からの脱却方法について、簡潔な英語で説明できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストで、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 10 (14 時間)	坂　茂、紙の建築家	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークで、自分の意見を表現し、相手の意見を聞く意欲がある。	・つきたい仕事についてワークシートの定型文を使って、ペアで伝え合う。	・ペア・ワークで、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・写真やイラストなどを見せながら、where/when(関係副詞)を使って、身近なものを説明する。 ・音読・暗唱する。	・where/when を使って、身近なものを説明する文を書き、写真やイラストを見せながら説明する。 ・聞き手にわかるように音読・暗唱する。	・where/when を使って、簡潔に説明する文を書ける。 ・聞き手に伝わるようにリズムや発音を意識しながら音読・暗唱できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・音読・暗唱テストを行う。
		「外国語理解の能力」			
		・パートごとに、内容を理解する。	・紙管を使う経緯、ルワンダと阪神淡路大震災での紙管の利用、被災地支援をする理由を理解する。	・本文を読んで、パートごとに内容を読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストで、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係詞(where, when)の使い方を理解する。	・本文中で用いられている言語材料の意味や用法を確認する。	・関係詞(where, when)の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストで、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 11 (14 時間)	祖国のために勝つ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークで、自分の意見を表現し、相手の意見を聞く意欲がある。	・海外で活躍しているサッカー選手について知っている事を、ワークシートに基づいてペアで伝え合う。	・ペア・ワークで、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、判断材料として活用する。

※令和３年度以前入学生用

		「外国語表現の能力」			
		・写真などを使って好きなスポーツ選手を説明する。	・写真などを使って好きなスポーツ選手を、モデルとなる英文を用いて、説明する。	・モデルとなる英文を用いて、聞き手にわかるように、説明することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・説明文を読んだり、聞いたりして、筆者の主張を読み取る。	・関連した画像などを見ながら、海外で活躍しているサッカー選手について、筆者の主張に注目しながら理解する。	・説明文を読んだり、聞いたりして、筆者の主張を読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストで、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・人を誘う表現(How about ~?)の使い方を、理解する。	・本文中で用いられている言語材料の意味や用法を確認する。	・人を誘う表現(How about ~?の使い方を理解できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストで、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 12 (14 時間)	小さな工場から世界へ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークで、自分の意見を表現し、相手の意見を聞く意欲がある。	・医療に関するイラストを見ながら、知っている事を、ワークシートに基づいてペアで伝え合う。	・ペア・ワークで、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・説明文を読んで、その要旨を簡潔に書く。 ・本文を音読・暗唱する。	・説明文を読んで、その要旨を、モデルとなる英文を用いて、簡潔に書く。 ・聞き手にわかるように音読・暗唱する。	・モデルとなる英文を用いて、簡単な英文で表現できる。 ・聞き手に伝わるようにリズムや発音を意識して音読・暗唱できる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・音読・暗唱テストを行う。
		「外国語理解の能力」			
		・世界で使われている日本製品にはどの様な物があるか、知っている。	・説明文を読んで、世界で使われている日本製品にはどのようなものがあるか、学ぶ。	・世界で使われている日本製品にはどのようなものがあるか、説明できる。	・定期テストの筆記テストで、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・指示語がさすものを理解する。	・本文中で用いられている言語材料の意味や用法を確認する。	・指示語の使い方を理解していて、具体的に言える。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストで、知識が身に付いているかを判断する。